



京都ダイハツ販売株式会社

本社：京都市右京区西京極東大丸町8番地
TEL: 075-311-8111
従業員数：328名（2024年4月現在）
創業：1966年2月
主な事業内容：自動車（新車、中古車）の販売、メンテナンス（点検、車検、修理）、部品販売、レンタリース、JAF取扱い、損保（自動車保険）、各種保険代理店業務
資本金：8,000万円（ダイハツ工業（株）100%出資）
売上高：153億円（2023年実績）



JOB INFORMATION

正社員募集



『「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見て応募です』とお伝えください。



営業職

【給与】大学卒：217,000円（営業手当：5,000円含む）、短大・専門学校卒：210,000円（営業手当：5,000円含む）、昇給年1回、賞与年2回
【諸手当】残業手当、通勤手当、家族手当、職位手当 他
【勤務地】京都府内各店舗（都道府県をまたいでの転勤はありません）ご自宅から通勤できる範囲内での勤務地になります
【勤務時間】9:15～18:00（休憩1時間 実労働7時間45分）
【休日】年間休日116日、部門別カレンダーあり（基本・店舗・部品）〈部門が違っても休日数は同じです〉、その他、GW、夏季休暇及び年末年始休暇、年次有給休暇（半日有給制度あり）、特別休暇、育児休暇、子の看護・介護休暇 他
【福利厚生・他】社会保険（健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金）、労働組合あり、要普通自動車運転免許（入社時AT可）、社員旅行、労使共催行事は定期開催（国内外旅行、ゴルフ大会、バスツアー、ボウリング大会、バーベキュー、運動会、地域清掃等）、育児休暇（現在取得中 女性：4名）、時短制度、介護休暇【取得実績あり（男性・女性ともに）】
【連絡先】☎ 075-311-8111（人事部 採用担当 佐藤・樋口・中嶋）
【営業時間】9:30～18:00（毎週水曜日、毎月第2、第3火曜日のそく）
【その他の募集職種】整備士の新卒採用に関しましては、学校・専門学校を通しておこなっております。詳細は採用担当までお問い合わせ下さい。

新卒採用を目的とした広報活動は、その年の内閣府提示の日程に準じます（例・広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降）。「在学中のみなさんが今何年生なのか」に応じて、時期によりお伝えすべき情報は変わります。詳細は人事部に直接お問合せください。

モビリティ こんな移動手段を推進中!

免許不要・次世代型電動車椅子「WHILL」

次世代型電動車椅子「WHILL」は、歩くには少し遠い、でもタクシーを頼むほどではない距離の移動の悩みを解消し、外出機会を増やしてくれるモビリティだ。運転免許証の返納後の移動手段はもちろん、年齢や性別を問わないスタイリッシュさも魅力。電車やバスなど公共交通機関への持ち込みも可。



近くの移動がスムーズ!



地域の外出を応援・AIオンデマンド交通「チョイソコ」

「チョイソコ」は事前予約制の乗り合い送迎サービス。2024年12月に運行開始した木津川市南加茂台の「ちよこつとながも」は、利用者から「病院に行きやすくなった」「外出が増えた」などの声が寄せられて喜ばれている。交通不便の解消だけでなく、住民の健康維持・増進にも役立っている。

カーシェアをもっと快適に

「トヨタシェアダイハツステーション」

「トヨタシェア ダイハツステーション」は24時間、時間単位で気軽に車を借りられるシステム。入会金・月会費ゼロ、会員登録後にWEBから予約ができ、ガソリン代、保険料込み。さらにダイハツディーラーの整備士が整備しているので安心。日帰りやグループでの外出に重宝されている。

予約ができて便利!



へのチャレンジが必要」と言い切る。そのため、仕事の効率を上げながらモビリティの新事業に取り組んでいる。

「今後は車に限らず、電動車椅子や電動キックボードなど『移動手段のことなら京都ダイハツに相談しよう』と頼られる存在になりたいですね」。

総務部人事室長の佐藤肇さんは、企業説明会では、モビリティライフ推進事業がアピールポイントになっていると話す。「地元密着で働きながら社会にも貢献したい。そんな意欲的な学生たちと出会う機会が増えています」。

岡地さんは話す。「この事業が正解かどうかは、今はわかりません。でも私たちは車の販売やメンテナンスだけでなく、事業を通して社会の豊かさに貢献し、必要とされる企業に成長したいと願っています。その挑戦が、モビリティライフ推進事業なのです」。

ディーラーとして、未来を追求する革新性。京都ダイハツ販売株式会社はモビリティライフを推進中だ。

学生が聞いてみた!

京都ダイハツが推す!

人材募集
recruitment

モビリティライフってなんですか?



「ディーラーは車を販売するだけが仕事」と思っていた学生が、京都ダイハツ販売株式会社の先駆的な事業を知り訪問。「モビリティライフ推進」により、多様な交通手段を提案し「安心して暮らせる地域をつくる」。そんな姿勢をレポートします!

写真左から モビリティライフ推進室 室長 岡地智之さん/京都芸術大学 4年 宮口結凛さん/総務部人事室 室長 佐藤 肇さん/サービス室 課長代理 村瀬亮太さん/営業スタッフ 清水茜音さん/学生フリーマガジン FASTENER 代表 早坂虹汰さん/営業スタッフ 橋本輝喜さん

移動にまつわる社会課題の解決を目指すモビリティライフ

葛野大路五条にある京都ダイハツ販売株式会社は、2026年2月で創立60周年を迎える、京都に12拠点をもちダイハツ車の販売会社だ。2022年から新たな事業「モビリティライフ推進事業」をスタート、交通利用を軸に自治体や地域と接点をもち、外出を応援する取り組みが、今、大きく注目されている。室長の岡地智之さんはこう話す。

「モビリティライフとは、移動手段を意味する『モビリティ』に生活『ライフ』を合わせた言葉です。いま、日本の過疎地では、採算が取れずバスの運行が難しくなるなど、さまざまな問題が起きています。こうした社会課題の解決を目指し、Aを駆使したオンデマンド交通やカーシェアリング、電動車椅子などの事業を展開しています（左ページ参照）」。

たとえば「WHILL（ウィル）」は次世代型電動車椅子シリーズで、運転免許不要。試乗した学生は「動きが軽い」「オシャレで祖父母にも喜ばれそう」と快適さに驚く（写真上）。

AIオンデマンド交通「チョイソコ」は予約型の乗り合い送迎サービス。予約をもとにAがルートを提案し、複数の利用者を効率よく送迎する。言うならば、運行表で周るコミュニティバスとタクシーの「いいとこどり」だ。

「地域のみなさんと最適な移動手段を考え、その結果、多くの方に喜んでいただける。やりがいも大きいです」と笑顔を見せる岡地さん。

モビリティライフ推進事業は必ずしも企業利益には直結していない。でも「社会課題に取り組むことは、営業やサービスなど、他部署にとっても大きな意味があるんです」と岡地さん。続いて各部署に掘り下げてみた。

社会の豊かさに貢献し必要とされる企業を目指して

五条カドノ店の営業スタッフ・橋本輝喜さんと清水茜音さんは、ともに新卒入社3年目。モビリティライフ推進について、「お客さまとのコミュニケーションを大事にする『営業』に欠かせない事業」と口を揃える。橋本さんは「モビリティライフ推進を通じて、車を購入するお客さまとは異なる方々と知り合えます。多様な方と出会い、自分の視野も広がります」。清水さんは「地域とつながり、さまざまな悩みを聞くことで、企業としての新たなニーズに出会います。たとえば免許証を返納された後も、WHILLで生活のお手伝いができる。それがうれしいですね」。

サービス室課長代理の村瀬亮太さんはチーフトレーナーとしてメカニックの育成、故障診断や修理、点検などを司る。忙しい部署だが「命と安全を守る『整備』にも、企業として新しいこと